

フードバンクかながわ 通信

「もったいない」を「わかちあい」・「ありがとう」へ



基本情報 2022年度の累計(2021年度寄贈287ト提供270ト)

寄贈 40.3ト 提供 52.8ト

5月

寄贈食品計	20.5ト	提供食品計	305回	30.2ト
企業・生協等	14.4ト	行政・社協	63回	4.3ト
フードドライブ	4.7ト	地域フードバンク	78回	12.6ト
寄付金購入	1.4ト	子ども食堂等	134回	10.1ト
		施設・福祉・外国関連	30回	3.2ト

紙幅に限りがあり、敬称略で報告します。

合意書締結団体

寄贈締結団体	228団体
提供締結団体	288団体
行政・社協	59団体
市民団体	229団体
(子ども食堂・居場所・施設・福祉関係)	

食品回収拠点約307か所

賛助会員寄付状況

団体会員206団体	655口
	655万円
個人会員	291人1,467口
	1,467千円
寄付	
2022年度	1,089,400円
累計	64,024,263円

寄贈(入庫)

パルシステム神奈川のお米でつながる未来アクション開始。メーカーのフードドライブ、ココロラヤクラダシの大量寄贈、山崎製パンのトライアル。不足するレトルトカレー等を寄付金で購入。

○事業者寄贈

抹茶ラテ・ファンタ(ココロ・コーラ)、カロリーメイト(クラダシ)、お好み焼き粉(お好みフーズ)、山崎製パンほか

○防災備蓄品

炊き出し用アルファ米(オリエンタルランド)、水(横浜市、富士通コワーレ)、アルファ米(安全輸送・神奈川トヨタ商事)、ビスケット(池田機工)、缶詰(東陶)、加熱できるレスキューセット(東電)

○フードドライブ

177回
30団体55回、個人122回
イトーヨーカドー、無印良品、そうてつローゼン、イオン、マイクロンメモリアジパン、メーカー会場、横浜市立大、栄区役所、横須賀市、UAゼンセン、JP労組、クイーンズ伊勢丹他

○米一合運動/プロジェクト

メーカー相模原労福協、ユーコープ横浜南1エリア会、浜教組、川崎労福協、JP労組さがみ支部・神奈川連協・女性フォーラム、バナソニック労組、横浜戸塚地区連合・労福協戸塚支部

提供(出庫)

提供数、団体、回数ともに増加。コロナの落ちつきとともに活動再開の兆し。地域FB4.4ト増。子ども食堂等4.4ト増、施設等1.4ト増。

○行政・社協・委託

35団体
ばくサボ(横浜市ひとり親支援)1.1ト、相模原市学生支援0.9ト、FBえびな(海老名市役所)0.35ト、横須賀市窓口0.33ト、相模原市自立支援窓口0.15ト他

○地域のフードバンク

34団体
くろーばーマーケット1.2ト、お福分けの会1.1ト、さろんどて1ト、川崎医療生協0.8ト、FBふじさわ0.7ト、FB湘南0.6ト、FB浜っ子南0.4トなど

○子ども食堂居場所等

79団体
アフリカヘリテイジコミュニティ0.95ト、ひまわり0.84ト、となりのれすとらん0.5ト、フリースペースたまりば0.5ト、おだわら児童館連合0.35ト、キッズカフェ杉田0.26トほか

○福祉・病院・外国関係

18団体
ブラジルSoridario1.4ト、いのちを守る人道支援NW0.4ト、カラー0.3ト、アルペなんみんセンター0.2トほか

メッセージ ともに地域を支える仲間として

特定非営利活動法人 セカンドリーグ神奈川

私たちセカンドリーグ神奈川は生協パルシステム神奈川が設立したNPO法人で、地域で活躍する人や団体を支援する中間支援がミッションです。



2017年から子ども食堂やフードバンクの支援に着手し、それ以来、両団体は協力しながら課題に向き合ってきました。

2019年から私たちはパルシステムグループの青果など地域の団体にお渡しする食支援「ビーバーリンク」活動を始動、フードバンク団体としても活動しています。私たちだけで対応しきれない量の食品をいただいた時や、フードバンクかながわから食品を提供いただくなど、日々連携を取り合っています。

そのような関係性がいかに発揮されたのが今年3月のお米の提供10トンの事例です。大量のお米の提供を受けた私たちはフードバンクかながわと連携して荷受け、倉庫への一時保管、搬出をスピーディーに実行、全てのお米を有効に使い切りました。



これからもだれもが暮らしやすい地域をめざして、お互いの力を合わせていきたいと思います。

ユーコープ組合員 フードバンク募金で600万円寄付



ユーコープは毎年フードバンク募金を実施。2021年度分600万円が寄付され、ユーコープの今井理事に吉坂共同代表より感謝状をお渡しした。

山崎製パン(株)様より菓子パンの提供を受けた キッズカフェ杉田さんからのご報告

ひと月120名くらい応援しています。7割が子ども。まだ一緒に食べることははばかれるので、持って帰ってもらうことが多い。事情があり持ち帰れないときは、別室で食べてもらうこともあります。一日に1回しか食べられない、土日に作ってもらえない子どももいます。菓子パンは1個100円以上して、食パンに比べ高いので、なかなか買ってもらえない。菓子パンをもらえる子どもたちはとても喜ぶと思います。

応援のパンを、子ども達は本当に嬉しそうに選んで持ち帰りました！お菓子と同じくらいのテンションで皆喜んでおりました。利用者は120人いましたので、1人1個のパンはあっという間になくなりました。とても人気でした。(久保田顕)



5月のフードバンク

「横浜市SDGs探求学習ガイド」は旅行会社・学校関係者向けのSDGsを学べる企業・施設を紹介ガイド。フードバンクかながわも掲載されており、コロナ安定化の兆しを受けて、北海道、東北、九州などの学校・旅行会社から問い合わせがくる。おおぜいの生徒さんどう対応するか、うれしい悲鳴である。



フードバンクかながわホームページ

横浜SDGs探求学習ガイド



トヨタモビリティ神奈川逗子店でトヨタ店舗初のフードドライブが行われているCoCoLoの会吉原さんの呼びかけによる。



仙台市の中学生が修学旅行でフードバンク訪問。SDGs学習、仕分けと米の小分け作業を体験。



「お米でつながるみらいアクション」米1.5トンの寄付



パルシステム神奈川は組合員が利用する米の1%分をフードバンクに寄付。3か月分の1.5トが入荷。



ユークoop横浜南1エリア会米一合プロジェクト



神奈川トヨタ商事様



海老名市主催フードバンクえ・び・な



メーデー会場でフードドライブ

連合神奈川は4月～5月メーデーに合わせてフードドライブを実施。HP会場ごとのサイトに状況を掲載。写真：川崎地域連合・川崎労協のメーデーでのフードドライブ品。



横浜労協戸塚支部、横浜戸塚地域連合加盟団体より米一合運動と寄付金による米304kgを寄贈



日本食研様お好み焼き粉+山芋パウダー



4月に引き続き、コカ・コーラ様より抹茶うた・ファンタヨーグルラシユ3,408本



寄付金で100万円分1.4トンの食品購入



情報労連研修



浜教組の米一合運動



日生協より大豆ドライパックとチキンピヨン



クラダシ様よりカロリーメイト88,080個

スライド 2

A2 作成者, 2021/11/03